



まちのわだい ～カメラスケッチ～



オロムシおやさいフェスティバルを開催

居武士小学校の収穫祭「オロムシおやさいフェスティバル」が9月20日に行われました。

児童たちは、学校菜園で収穫したたくさんの野菜を使い、ポトフや野菜炒め、大学いも、コーンスープなどを調理しました。

それぞれ作った料理を食べた児童からは「おいしくできた」などの声があがり、笑顔満開でした。



わくわく園祖父母参観日

5歳児の園児の祖父母参観日が9月14日に行われ、祖父母とカレーを作りました。

園児たちは、ジャガイモやニンジンの皮を祖父母と協力しておき、一生懸命作ったカレーを笑顔でおいしそうに食べていました。



わくわく園おまつりごっこ

わくわく園のおまつりごっこが、9月21日に行われ、園児たちは手づくりのみこしを担ぎ、園内グラウンドを歩きました。クラスごとに製作したみこしを保護者らに見守られながら、元気いっぱい披露していました。



秋まつり素人縁日にぎわう

「秋まつりくんねぶ元気ステージ&素人縁日」が9月15日と16日、仲町公共駐車場で行われ、家族連れなどでにぎわいました。

会場には、ヨーヨー釣りや焼き鳥などの縁日のほか、特設ステージでは、HIPHOPダンスや吹奏楽演奏などが繰り広げられ、訓子府の秋を楽しみました。

また、町歴史館内で秋の子ども祭りも開催され、アイロンビーズやネイルアートなど、子どもたちは楽しい時間を過ごしていました。



5団体が出演 音楽の広場

第44回音楽の広場が8月26日、町公民館で開かれ、森下幸之助バンドや訓子府小学校スクールバンド、訓子府中学校吹奏楽部、訓子府高等学校吹奏楽部、オニオン吹奏楽団が出演しました。

吹奏楽合同演奏では「インヴィクタ序曲」や「風になりたい」を演奏し、会場がー丸となって音楽の世界を楽しみました。



秋晴れの下、ロードレース子どもたちががんばった

秋のロードレース大会が9月1日、訓子府中学校グラウンド発着のコースで開かれ、秋晴れの下、幼児から一般まで約260人が参加しました。

コースは、1kmから5kmまでで、訓中から常呂川堤防を走り、また訓中に戻ってきます。

多数の参加者たちは、心地よい風が吹く堤防で健脚を競い、ゴールをめざしていました。



居小野外調査学習

訓子府のまちを再発見

居武士小学校の「秋の野外調査学習」が、9月13日に行われました。

児童がテーマをもって、校外に繰り出ささまざまな学習をする活動で、毎年実施しています。今回3年生は、訓子府の歴史を学ぶ学習として歴史館を見学するなど、改めて訓子府のまちを再発見していました。

